

公表日 2026年 3月 20日

事業所名 ごぼんはうすさくら 真岡熊倉教室

保護者等数(児童数) 17名 回収数 15件(割合88%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2			・遊ぶスペースと学習スペースが分かれていて良い。・小学生が多いため、スペースとしては少し狭い気がする。	部屋数が少ないため狭いと感じてしまいますよね。パーティションでスペースを分け、室内での遊び方を伝え対応しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		1	一人ひとり丁寧に対応していただいている。	放デイ・児発ともに1日13名程の利用者に対し、5名程の職員で対応しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2			クールダウンスペースはあるのだろうか？	現在療育室・玩具室・事務室・休憩室があり、必要な場合において、事務室や玩具室でクールダウンを行えるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				パーティションがあり空間を分けられている。	パーティションで遊ぶスペースと学習スペースを分け、スムーズに活動が出来るようにしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1			作業療法や言語療法等の機会があると良い。	今後、資格を持った職員が入ってきた場合に行っていきたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1		2	・特に問題ない。 ・支援プログラムがわからない。	ごぼんはうすのホームページから真岡熊倉教室を開いていただくとご覧いただけます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1			細かく対応してくれている。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	2		1	本人支援中心で他の項目の具体的な支援内容が不明。	モニタリング後に作成される個別支援計画に「家族支援」「移行支援」の記載があります。今後、モニタリング等でご不明な点がないよう説明し対応していきたいと思います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				特に問題ない。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	3			・個々の活動を専門的にしているか不明。 ・新しいレクリエーションが増えていくと聞いている。	個々の活動においては、宿題への支援や活動における情緒面への支援を中心に行っています。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	5	4	機会はない。	現在、他施設との交流の場は設けておりません。感染症の流行状況など踏まえて検討していきたいと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1			特に問題ない。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	2			特に問題ない。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	6	5	1	案内はない。	希望があった場合、開催を検討していきたいです。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1			細かくできている。	
	16	定期的、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	3			施設側から少ない。	モニタリング以外でも相談を受け付けているため、いつでもお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	2			・穏やかに過ごさせている。・子どもの事業所での態度・言葉など、事業所からのコメントを読み落ち込むことがある。	申し訳ありません。職員一同、保護者様に寄り添い支援を行えるよう努めていきたいです。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		6	8	1	案内はない。	希望があった場合、開催を検討していきたいです。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1			・長期休み中の送り迎えの対応等、快く対応してくださり感謝している。・相談や質問をした際に職員からの返答や確認後速やかに伝えてくれる等、適切に対応されている。	相談や申入れがある場合は、お声がけください。可能な限り対応させていただきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			リズムや帰りのタイミングでの情報伝達により、教室内での様子もよくわかるため不安がない。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15				・いつも楽しみにインスタを拝見している。・毎月のレクリエーションカレンダーやインスタでの様子を確認など活動についての発信は良くされている。	今後も子どもたちの姿や活動内容を発信していきたいです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	2			情報漏洩もしておらずSNS等でも名前をふせてくれているため留意されているがどのように保管されているかわからず不安。	鍵付きの保管庫にて管理しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	4			訓練をしている情報は入ってくるがマニュアルがあるか不安。	各マニュアルは、事務室に掲示され職員が確認できるようにしています。また、発生を想定した訓練を年間計画に沿って行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	2		1	レクリエーションで子どもたちと避難訓練をしていることがあるため訓練はしっかりとされている。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2			あまり怪我することなく通えているため、先生方が子どもたちを良く見て安全に配慮されていると思うが計画については分からない。	安全計画についても事務室に掲示され、安全の確保が出来るよう職員一同努めております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	3		1	大きな事故はないが、怪我をした際にしっかりと経緯や状態を伝えてくれている。	大きな怪我や体調不良があった場合は、保護者の方のお電話にて連絡させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				先生や友達との話をよく聞き、本人も楽しんでいて安心して通えていると思う。	今後も安心して通えるよう、職員一同努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			・毎回楽しく通っている。・利用日には子どものデンションも高く、毎回楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				子どもが困った言動をしてしまった時にも根気強く対応して下さっていて本当に感謝している。発達適度に含ませて宿題やレクリエーションを実施していただき感謝している。	今後もご満足いただける支援を行えるよう努めていきます。

公表日

2026年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 真岡熊倉教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		適切ではあるが、体が大きくなるにつれて狭くなってきているので、外での活動を増やしながら対応してる。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用定員と照らし合わせながら、勤務表を作成し、安心安全に過ごせるよう配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		パーテーションで学習場所、活動場所を区切り、スムーズに行動できるようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日頃から掃除を徹底し清潔さを保っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	やむを得ない場合やクールダウンが必要な場合は、職員と一緒に事務室や玩具部屋を活用し、個別に使用できる部屋を作っている。	部屋数が少ないため、やむを得ない場合をのぞき、個別の部屋を使用することは難しい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日々、職員間で話し合いながら業務改善に努めている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価表を参考にしながら、職員間で話し合いできる限り取り入れている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議や日々の話し合いのなか意見を出し合い改善につなげている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	本部の方の評価を踏まえて改善につなげている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		日頃の子どもの様子とニーズを組み合わせながら作成を行っている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		日頃の子どもの様子など全員が意見を出し合える場を用意している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		現状で行えることを認識しながら、お子様にとって最善な計画を考え作成している。	現状「地域交流の機会の提供」に関して組み合わせて行えていないと感じる。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		全員がアイデアを共有し、ブラッシュアップしながらプログラムを作っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		レクリエーションの種類を増やし、利用人数や年齢等加味しながら行っている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援開始前に話し合う機会を設け、疑問や連絡事項、役割等確認している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	その日のうちに可能であれば情報共有を行っている。送迎等で難しかった場合は、次の日に行っている。	支援終了後に必ず打ち合わせや振り返りは行えていない。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	4	1	地域活動は行っていないが、それ以外を組み合わせず支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		学校で疲れている等、その日の調子で出来ることが変わるため、子どもたちの意思を聞き、自己選択が出来よう支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	保護者様から学校での様子や医療機関からの助言等を聞き、支援を行っている。	医療機関と連携することは出来ていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		まだ高校を卒業したお子様がいないため、障害福祉サービス事業所等、移行する場合は情報提供を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		5		時間等の関係、感染状況など、交流の時間を設けられていないのが現状。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	児童発達支援管理責任者が参加し、現場の職員に情報を共有している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	児童発達支援管理責任者から情報提供等を行っている。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		モニタリング等を行い、保護者様の意向を聞いたうえで子どもにとって最善な計画を考え作成している。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		父母の会、保護者会等、行ってないため、要望の声が上がった際には検討していきたい。
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		レクリエーションカレンダーやリトム、インスタグラムを活用し、行事予定や様子を発信している。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報になるものは鍵付きの保管庫に入れ、パソコンにもロックをかけ外部に漏れないようにしている。	
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		時間との関係でなかなか開催することは出来ていない。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		職員は周知することが出来ている。だが、保護者様が周知していない場合があるため、インスタグラム等活用していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		利用前にお子さまの情報を書類で残してもらい、職員全員に共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	アレルギーについては、しっかりと保護者様に確認し、職員全員に共有し対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事故等があった場合、書類に残し、職員間で共有して再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止の研修に参加・事業所内でも研修を行い、適切な対応が出来るよう体制を整えている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束について研修に参加し、職員全員が理解しながら支援を行えるようにしている。また、保護者から書面で同意も得ている。	